

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	青ヶ島村立青ヶ島中学校
授業者	天野竜太郎、杉本翔太、丸山尚子

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

「海」～青ヶ島から見つめる私たちの海～

#### 1-2. 学年

中学2年生

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

#### 1-4. 単元の概要

単元を「海」～青ヶ島から見つめる私たちの海～ に設定し、総合的な学習の時間を活用して取り組んだ。

①テーマ設定（講師：田口康大先生【東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター特任講師】）

②探究学習

- ・インターネットや文献を用いた調べ学習、移動教室における体験学習
- ・青ヶ島島民に対するインタビュー調査、動画編集

③学習発表

- ・宿泊行事報告会や学習発表会にて探究学習の成果発表

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校は、東京都の島しょ地区に位置し、周囲を海で囲まれた絶海の孤島として知られる青ヶ島で日々生活を送っている。そのため、海との関わり合いは非常に強いが、海が存在が当たり前となり、海について考える機会が少なかった。したがって、海についての科学的知見や思想を深めることが、海と共生している青ヶ島について知ることに繋がり、最終的には青ヶ島を知ることにより、青ヶ島で生活をしている自分の生き方を見つめることに繋がると考え、本単元を設定した。今年度の学習の柱には、海洋教育のコンセプト「21世紀の海洋教育に関するグランドデザイン」の中から、『海に親しむ、海を知る』といった学習領域を軸に置き、個々の関心のある「海」との関わりから、課題を設定し、探究学習に取り組みさせることとした。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・海と青ヶ島の関わりについての学習を通して、ふるさとである青ヶ島への思いを深め、青ヶ島への誇りをもち、前向きに努力しようとする気持ちを育む。
- ・自ら課題を設定し、テーマに迫る探究活動を通して、学ぶ姿勢を身につけ、学ぼうとする意欲を育む。
- ・対話的な学習を通して、人の思いや考えに共感し、自分の言葉で思いを伝えられる力を育む。
- ・専門的な人材を招聘し、より深い学習のサポートと見聞を広め、多様な学びの機会を経験させる。
- ・探究活動の進め方を学び、教員の指導力向上と青ヶ島についての学びを深めさせる。

1-7. 単元の展開（全31時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1   3	○海洋教育の取り組みに関するガイダンス 「海を通して青ヶ島を知る。また、青ヶ島との関わりから自分の生き方を探る。」 ○探究テーマの設定 ・海と自分の繋がりを探る。 ・テーマの設定、探究の広げ方・探り方。	<教師の指導> 学習に見通しをもたせ、「なぜ知りたいのか」という自分との対話を充実させる。 【課題設定能力・情報分析能力】 <外部連携> 講師：田口康大先生【東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター特任講師】
4   10	○調べ学習Ⅰ ・移動教室で訪れる見学施設の概要を知り、各々のテーマに基づいた関連項目を調べ、調査対象を整理する。 ○移動教室における実地調査 ・施設見学や講義、実験。	<教師の指導> 各々の探究テーマに沿った見学施設の設定ができるよう支援する。【情報分析能力】 <外部連携> 国立研究開発法人海洋研究開発機構「JAMSTEC」 横浜みなと博物館
11   17	○学習成果の発表Ⅰ（宿泊行事報告会） ・プレゼンテーションソフトにて、移動教室で調査した探究の成果をまとめる。 ・宿泊行事報告会にて、テーマ毎に移動教室で調査した成果を発表する。	<主な評価> 自己の興味関心の中から課題を設定することができ、主体的に課題解決に取り組むことができる 【課題解決能力】
18   22	○調べ学習Ⅱ ・調べ学習Ⅰや宿泊行事報告会を行った上で見つけた疑問や気付きをもとに、改めて探究の方向性を検討する。 ・インターネットや文献を活用して調査する。	<教師の指導> 各々の探究テーマをもとに、青ヶ島と比較したり、関係性を考えさせたりしながら、調べ学習に取り組ませ、全体の学習の流れを統一させる。 【課題設定能力・情報分析能力】
23   30	○インタビュー調査 ・インタビューを実施する島民の決定。 ・インタビュー内容の検討。 ・インタビュー動画の撮影、編集。	<使用教材> 動画編集ソフト Power Director【Cyberlink社】 <外部連携> 五洋建設青ヶ島工事事務所 青ヶ島総合開発株式会社 【情報分析能力】
31	○学習成果の発表Ⅱ（学習発表会） ・動画やプレゼンテーションソフトを活用して、探究学習の成果を発表する。 ・各々の成果と課題をまとめ、次年度の学習領域への動機付けとする。	<主な評価> 収集した情報を効果的に選択し、分かりやすくパワーポイントをまとめ、発表することができる。 【まとめる力、表現力】

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

- ・ 共通テーマ「海」に対して、個人の探究テーマを設定することができる。
- ・ 探究学習を行っていく上で、探究の広げ方や探り方を知る。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○本時の学習の流れと探究学習のねらいを確認する。            &lt;探究学習のねらい&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             海を通して青ヶ島を知る。また、青ヶ島との関わりから自分の生き方を探る。           </div> <p>○青ヶ島の伝えたいことを探す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こんな場所、人、者、歴史、不思議 など</li> <li>・ こんなところが嫌だ、変えたい など</li> </ul> <p>○海のイメージを整理し、海と自分の繋がりを探る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海は（ ）い に当てはまる言葉の連想</li> </ul> <p>○探究のテーマを決定する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何について知りたいのか</li> <li>・ なぜ知りたいのか</li> <li>・ 知ってどうしたいのか</li> </ul> <p>○探究の広げ方や探り方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつ、どこで、だれが、なぜ、どのように、もし～だったら</li> </ul> <p>○次時の学習内容の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べ学習 I</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本単元の学習の目的と流れを説明し、学習活動に見通しをもたせる。また、生活に馴染みの深い「海」を切り口に、最終的には自分の生き方を見つめる学習であることを踏まえさせる。</li> <li>・ 青ヶ島の特徴を整理させ、自分の生活を振り返るきっかけとする。</li> <li>・ 海洋教育とは、海と人類の共生を実現するために今後何が必要なのかを考える学習だということを踏まえ、海との関わりを考えさせる。</li> <li>・ 探究学習の善し悪しを決めるのは、「なぜ知りたいのか」という率直な自分の疑問であるため、自己との対話を大切にさせるように声掛けを行う。</li> </ul> <p>[評価の視点]</p> <p>自ら探究課題を設定し、その探究課題を広げたり探ったりすることができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習カードを用いて、個人テーマから派生できそうな疑問を探し、探究学習に取り組む方法を整理させる。</li> <li>・ 個人テーマに沿った調べ学習を行う上で、探究したい項目を自分の中でまとめさせておく。</li> </ul>

### 3. 今回の活動の自己評価

今年度、海洋教育プログラムへの取り組みが初めての参加であったため、生徒の学びの集大成に向けて、教師自身がどのような指導の工夫ができるか、日々試行錯誤しながら指導にあたった。探究の漕ぎ出しの場面で、田口康大先生【東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター特任講師】より、人と海の共生に向け取り組むべき課題、探究学習の課題設定の方法、今後の学習の方向性について助言をいただいた。その講義がきっかけとなり、生徒がその後の学習に主体的に取り組んだり、教師も指導の見通しをもったりすることができた。また、インターネットや文献を用いて情報収集し、島民に向けて発表することで、それぞれのテーマへの認識が深まった。さらに、発表を受けて生まれた気付きや疑問をもとに、島民に対してインタビュー調査を実施し、テーマと自分たちの住む青ヶ島と関係性にも着目して考えることができた。

### 4. 今後の課題

今年度の学習を通して、海洋教育のコンセプト【海洋政策研究財団「21世紀の海洋教育に関するグランドデザイン」】に掲げられている4つの側面の内、「海に親しむ」、「海を知る」の領域は、生徒の中で概ね達成できたと考える。そこで今後は、「海を守る」、「海を利用する」といった領域の学習に進出させ、各地域の先行研究をもとに、より青ヶ島の生活と関連した海洋教育を充実させていきたいと考える。その中で、青ヶ島に住む人々が海洋とどのように関わり、どのような恩恵や実害を受けているといった理解を深めるとともに、対話的な学習を充実させ、更なる学習の深まりを目指していく。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

写真1. 田口康大先生の出前授業



写真2. 調べ学習



写真3. 学習発表会



※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。